

# 第 160 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

## 議事概要

日 時：令和 4 年 4 月 26 日（火）11:00～12:00

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

・会議の概要

<報告事項>

◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。

<議題>

◇ 沖縄県対処方針について、変更することを決定した。

<その他>

◇ ゴールデンウィーク期間中の医療体制及び検査体制について、説明があった。

## 1 参加者

玉城 知事、照屋 副知事 池田 副知事、島袋 政策調整監、溜 基地対策統括監、  
宮城 総務部長、儀間 企画部長、金城 環境部長、宮平 子ども生活福祉部長、  
系数 保健医療部長、崎原 農林水産部長、松永 商工労働部長、  
宮城 文化観光スポーツ部長、島袋 土木建築部長、名渡山 会計管理者、半嶺 教育長、  
我那覇 病院事業局長、松田 企業局長、喜屋武 警備第二課長 宮里 感染対策統括監、  
高山 政策参与、テレビ会議システム利用：木村 宮古保健所長、比嘉 八重山保健所長

## 2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

➤ 総括情報部から最新の新規陽性者及び療養者の状況について報告【資料 1】

✓ 4/25 の新規発生は 489 名となっている。

(2) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料 3、3-1～3-10】

➤ 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告。

✓ 判断指標の人口 10 万人当たりの新規陽性者数はここ一週間 600 人台、病床使用率は 4/20 以降 40%台、国基準の重症者用病床使用率は本日 7.1%となっている。

- ✓ 参考指標の、新規 PCR 検査の陽性率は一時 17%を超えたが昨日から 16%が続いている。直近 1 週間の新規陽性者数の前週比は 1.01 と緩やかな下がり傾向。
- ✓ 即応病院（計画）数は、二週間前の 622 床から 657 床に増加している。
- ✓ 新規陽性者数については、昨日 489 名で改善しているが、その日以外は軒並み 1,000 を超える状況が続いている。
- ✓ 療養者数は、入院中 318 名で先週の 346 名をピークに下がり気味。宿泊施設療養中は 548 名、自宅療養中は 9,379 名であり、療養者数が 11,000 人を超える状況が続いている。
- ✓ 非コロナ病床については、4/25 の総合計は 94.6%となっており、特に中部、南部では依然として高い水準となっている。
- ✓ 直近 1 週間の人口 10 万人あたりの新規陽性者数は沖縄県が全国 1 位。北海道が 3 位だが、2 位、4 位、5 位は九州で以前多く陽性者が出ている一方、東京や大阪、愛知などの大都市圏では前週比 1.00 を切るような改善がされている状況となっている。
- ✓ 市町村別で見ると、豊見城市が前週比 1.45、宮古島市が 1.44 となっている。圏域別で見ると、那覇、宮古、八重山では前週比 1.00 を超える状況となっている。
- ✓ 新規感染者に占める 60 歳以上の割合を見ると、3 月半ばに 7.8%まで減ったが、4 月に入り 10%台が続いている。
- ✓ 患者受入医療機関の就業制限（休業）状況を見ると、第 6 波の時に比べると半分をやや超える職員が休業しているが、いずれも第 5 波の倍近い数が休業している状況となっている。看護師が 200 名と半数近くを占めている。
- ✓ 推定感染源が飲食関係の陽性者数については、4/18 の週では 213 名となっており、前週より 12 名増加している。市町村別に見ると、那覇市 49 名、沖縄市 24 名、宮古島市 29 名と各地で感染が見られる。

- ✓ 4/11 の週における県外からの移入例は 29 人となっており、全体に占める割合の 1%を切る状況が続いている。4 月 3 週目は 12 都道府県からの移入例を確認している。
- ✓ 宮古圏内の新規感染者数（直近 1 週間合計）は、4/11 の 287 人から 300 人台を超え、現在 500 人台を超える状況となっている。一方で、重症者は 0 人、入院数も 1 桁台が続いている。
- ✓ 八重山圏内の新規感染者数（直近 1 週間合計）は、4/11 の 339 人から現在は 400 人台で推移している。一方で重症者数は 0 人、入院患者数も 10 人程度で推移している。
- ✓ ゲノム検査状況によると、検査数 96 件に対して 83 件が BA. 2 型のウイルスとなっている。

### （3）検査事業実績について【資料 7】

- ✓ 一般の無料検査では、4/16 の週は 21, 781 件で前週比-9, 172 件となっているが、これは先週受検者数を約 9, 000 人、陽性者数約 800 人を計上した業者の報告遅れによるもの。

### （4）ワクチンの接種状況について【資料 8】

#### ➤ 総括情報部より報告。

- ✓ 4/24 時点での接種実績として、1 回目 70.7%、2 回目 70.0%、3 回目 38.1% が接種済みとなっており、3 回目の接種は高齢者の 80.0%が接種済みとなっている。
- ✓ 3 回目接種の推進について、厚生労働省のアドバイザリーボード資料を基に作成しており、ワクチンの有効性が示唆されている。今後ワクチン接種の案内に活用していく予定。

## (6) 県立病院の状況について

### ➤ 病院事業局より県立病院の状況について報告

- ✓ 4/25 時点の県立病院の入院患者数は全体で 62 人となっており、前週（65 人）前々週（75 人）に比べると微減。県立病院が現在確保しているコロナ病床の稼働率は 37.3%である。
- ✓ 県立病院の入院者数の内訳としては、北部病院 15 人、中部病院 14 人、南部医療センター18 人、宮古病院 2 人、八重山病院 8 人、精和病院 5 人の計 62 人となっている。また非コロナ病床稼働率は全体的に高くなっている。
- ✓ 北部病院では、重症者はなく、地域包括ケアでクラスターが発生した（職員 2 人、患者 3 人）が、全員軽症であった。濃厚接触者については毎日抗原検査を行い勤務している。また診療制限は行っていない。
- ✓ 中部病院では、救急患者の増加に伴い 4/25 から 5/6 まで外来診療を原則、電話診療に制限した。
- ✓ 宮古病院では、ホテル療養 18 人、自宅療養 475 人、自宅待機 122 人となっている。ゴールデンウィークの診療体制については医師会報告待ちだが、宮古病院は通常の休日診療を行う。
- ✓ 八重山病院では、4/22 から 4/25 までの間に職員 10 名、入院患者 1 名の計 11 名の陽性が判明したため、4/25 から 5/15 までの間、一般外来診療を停止し電話診療を中心に行うこととした。
- ✓ 精和病院では、就業制限職員が 9 名、陽性職員が 3 名おり追跡調査中。診療、病棟運営に支障は出していない。

## (7) 宮古・八重山地域の感染状況について

### ➤ 宮古地方本部から宮古地域の感染状況等について報告。

- ✓ 宮古では1週間で380名程度の感染者が発生しており、前週より1.3倍前後となっている。年齢別にみると、10歳未満が21%で最大、10代で20%となっており、20歳未満の年代で全体の41%程度、20代から50代で増加傾向。一方で60代以上は8%と減少傾向にある。
  - ✓ 学校に通っていることやワクチン接種の関係もあり、10歳未満や10代で広がっている様子。
  - ✓ 職業別にみると、建設業での広がりが目立つ。
  - ✓ 施設での感染がやや増加。今週は17件程度ある。内訳としては職員18人、患者3名となっておりほとんどが職員の陽性となっている。
  - ✓ 医療機関のクラスターについては現在特に発生していない。
  - ✓ 疫学調査について、SNSを利用し患者自身に入力してもらう方法を試みた結果、10分程度で済むケースもあった。SNSを利用していない年齢層もいるため、課題もある。
  - ✓ パルスオキシメーターの数はあるが返却が滞っているため、マスコミを通じて発信した。
- 八重山地方本部から八重山地域の感染状況について報告。
- ✓ 4/18の週の感染者は454名となっており、前週比1.2倍程度と上がってきている。一日60名程度陽性者の発生が続いている。
  - ✓ 民間PCRのうち届け出遅れなどが1割程度発生しており、確認漏れが起こらない体制の整備が必要。
  - ✓ 陽性者とのファーストコンタクトが1、2日ほど遅れている。
  - ✓ 竹富町では新規陽性者が13名発生し、半分は部活関係。与那国島でも感染者が発生しており、10名ほど公的機関関係者の濃厚接触者が出ている状況。
  - ✓ 病院事業局からも報告があったとおり、八重山病院でクラスターが発生。

- ✓ 八重山の陽性者の内訳としては、自衛隊基地の作業員 10 名以上、中学校の部活動の合同練習での感染など。旅行者からも数名でており、ホテル療養している。
- ✓ グループホームの職員が検査結果待ちとなっている。
- ✓ 島内での感染が広がっているため、各出先機関や市町村と会議を持ち情報共有を行っていく。

(8) 空港 PCR 検査プロジェクト・TACO・RICCA の運用状況等について【資料 9】

- 文化観光スポーツ部から、空港 PCR 検査プロジェクト・TACO・RICCA の状況について報告。
  - ✓ 空港 PCR 検査プロジェクトについて、4/18 の週の受検者は 2,077 人で、その内 63 人が陽性であった。
  - ✓ 那覇空港抗原検査について、受検者は 197 人で、その内陽性は 0 人であった。
  - ✓ TACO について、4/18 の週の電話対応件数は 26 件で、うち健康相談・問診実施数は 2 件となっている。
  - ✓ RICCA について、4/22 時点の登録者数は 148,457 人となっている。(前週より +351)

(9) 報告事項への意見等について

- ✓ 知事部局職員に対し、ワクチン接種のアンケートを行った結果、全体の 8 割から回答が得られた。4,298 名のうち、48.1%となる 2,068 名については 3 回目のワクチンを接種済みとなっている。また、4,298 名のうち 400 名程度は 2 回目の接種から 6 か月を経っていないため、接種可能な職員の半数は接種済み。県職員に対してもより接種を進める必要があるため、対応していく。

### 3 議題 沖縄県対処方針の変更案について

- 総括情報部より、沖縄県対処方針の変更案について説明があった。
  - ✓ ゴールデンウィーク期間中の感染拡大に備えた内容に修正を行っている。
  - ✓ 昨年度のゴールデンウィーク頃の人口 10 万人あたりの直近 1 週間の新規陽性者数と前週比の推移についてのグラフを掲載している。ゴールデンウィーク期間前は新規陽性者数の減少が見られていたが、期間中から徐々に増え始め、5 月 15 日には前週比 1.88 倍が確認されるなど急速な感染拡大となった。
  - ✓ ゴールデンウィークの過ごし方として、旅行、帰省、外出等、イベント、会食、家庭内でできる注意書きを記載している。
  - ✓ ゴールデンウィークに対応したコロナかな？と思ったらのフロー図を作成した。小児の病院受診（夜間・休日）の相談先の番号を掲載している。
  - ✓ 子どもを感染から守るところで、部活における室内ミーティング等において換気等の感染対策、部活前後の飲食についての注意を記載している。
  - ✓ ワクチン接種の加速を図るところで、1 回目、2 回目接種の後、予防効果が時間の経過に伴い低下すること、3 回目接種をすることで 2～4 週間後に予防効果が回復することを記載している。
- 議題について、各委員から意見があった
  - ✓ PCR 検査について、多良間村や西表島、与那国島などでも対応できないか。
    - 先日の市町村振興拡大大会にて同様の要望があり、現在行われている役場と検査機関の対応について、県も支援していく。
    - コロナ陽性になった際には、コロナ対策本部に連絡することになるのか。
    - 県コロナ本部に陽性者の届け出が届いたのち、県側から連絡することとなっている。

### 4 その他報告事項

- ✓ ゴールデンウィーク期間中の相談体制として、コールセンターを設置し24時間対応を行う。
  - ✓ 小児救急電話相談として、電話での無料相談を行う。
  - ✓ 発熱外来の病院・診療所の確保を行っている。
  - ✓ PCR検査会場について、コロナかな？のリーフレット内のQRコードで案内を行っている。
  - ✓ ゴールデンウィークの予約状況について、主要エアラインに聞き取りを行ったところ、4/21時点で前年度比49%増となる13万9,487人の入域観光数が見込まれる。
  - ✓ 沖縄便の搭乗客（希望者）を対象とする無料検査を国と連携のもと実施する。
  - ✓ 内閣官房作成・配布のパンフレットについて、沖縄便のある空港で掲示する際については、帰省以外の場合も含め、事前にワクチン3回目接種または検査を受けるよう周知している。
- 議題について、各委員から意見があった
- ✓ 最近ではコロナ禍以前と同じくらい救急を受信する患者が増えているため、ゴールデンウィーク中、混雑することが予想される。かかりつけ医などへの相談を行うようお願いしたい。
- 総括
- ✓ 対処方針の変更について、議論の結果提案のとおり変更することを決定した。

閉 会